

FIWC 関東 定例委員会報告 2008年8号

2008年 8月 臨時定例委員会

2008年8月3日（日）FIWC 関東委員会定例委員会が行われました。

場所：都内某オフィス

時間：13時～17時

参加者：緒方健太、吉田亮輔、清水あゆ子、鈴木美和子、近原弘芳、菅原聡子、佐藤正明、雨宮広樹、荒木津可佐

臨時定例会報告（文責：鈴木美和子）

今回の定例会では、まず会計について話し合いました。

なぜ会計なのかというと、OB会から支援金が降り、その用途について至急話し合う必要があったためです。その用途とは、フィリピンキャンプの保険金（※1）・片品キャンプの援助金の二点です。これらのイベントは8月中旬に迫っており会計の承認のためには、定例会で承認される必要があるため（※2）、定例会を臨時に開催しました。

OB会支援金の用途について

《用途の決定原則》 使用法は現役キャンパーが決めること

《予想された意向》 OBと現役との交流を大事にできるようなもの
下見の出費やワーク費など学生の負担の軽減

《片品キャンプへの使用決定の理由》

OBも参加するキャンプであり、現役との交流があるキャンプであるため。他の費用でなく交通費に設定したのは、他団体支援金の範例から。（明瞭公正な会計が望めるため。）

《フィリピンキャンプでの使用決定の理由》

7月26日に行われたOB総会にて現役からの使用用途案で※1のシチュエーションがあり得ることを伝えました。その結果としてOBが応えてくれ、入金して下さったと判断したため。

《今後の利用方針》

みんなの意思を理解したキャンプのリーダーが出資する人の意思をくみ取って、決めて申請すること。

会計（文責：田中三津子）

後日掲載致します。



OB総会にて交流する新旧キャンパー

※1 キャンプの保険金

キャンプ参加者全員が保険に加入してはいるが、治療費等、払い戻しが帰国後になる。そのため何かがあった場合、キャンパーがすぐには負担できない高額になる可能性がある。そういった非常時に使うことができる貸出金である。（10万円程度）

※2 会計の承認法の確認

会計に関しては、最高議会である定例会にて承認を得ることで決定していきます。（定例会報告書2008年4号参照）

9月定例会について（文責：吉田亮輔）

今年の1月から、FIWC 関東委員会として

どのように活動するか、何を目標として、どのような団体を目指すのかをこの半年間話し合ってきたが、決め手を欠き、決定に至らなかった。

もっとも、その間には、定例会の定期開催、組織体制の再編、会計システムの明瞭化、ホームページFIWC.jp等進歩はあった。

FIWC 関東委員会とは、その問いへの答えがでない、その理由には、活動の中心であるワークキャンプとは何かと言う共通認識がなかった事、また、その話し合いが抜けていたことが原因であると判断した。

そこで、夏キャンプ後最初の定例会でまずは、ワークキャンプって何だろうを話合う運びとなり、その準備をおこなった。

次回の定例会のおしらせ

【場所】 河合塾新宿校 別館コスモ5A教室

【時間】 9月20（土） 13時～17時

【司会】 緒方健太

【ディスカッション】 ワークキャンプとは何か

【ゲストスピーカー】 矢部晃氏、阿木幸男氏

FIWC 関東委員会定例会 報告書

発行者：FIWC 関東委員会

カンパの募集：FIWC 関東委員会はカンパで運営しております。

振込先：郵便振替 口座番号 00170-2-565117

加入者名：FIWC 関東委員会